

長岡市議会議員 松井一男の

議会だより

第一号平成十七年八月二十一日発行

残暑お見舞い申し上げます



長岡市議会6月定例会の報告

長岡市議会は6月定例会を6月28日に召集、総額2千6億円の平成17年度予算を含む44件の議案等を可決し、7月15日閉会しました。

4月に合併した5町村から、増員選挙に当選した7人の新議員を含め39名(一名欠員)が議論を戦わしました。

以下に新年度事業のうち旧中之島町に關係する主なものを紹介します。

◇上通地区老人憩いの家建設事業(新規)

予算額1億2千万円(木造平屋建90坪)
上通小学校の南側に建設される施設で、来年3月のオープンを目指して準備が進められています。

◇県営土地改良事業負担金(継続)

事業費17億5千万円(予算額1億9千万円)
ほ場整備中之島中部地区、ほ場整備事業中之島南部地区、広域農道、湛水防除他の促進を図るための市負担額を満額計上したものです。

◇公共下水道整備事業(継続)

予算額3億5千万円で、中興野、流通団地、大口、灰島新田の管路整備と、浄化センター拡張、事業認可変更、中条地区整備の業務委託を予定。



◇「特養ホーム中之島」建設事業補助金(新規)

予算額1億円で長岡三古老人福祉会に建設補助を行うもの。9月開所予定。

◇道路改良事業(継続)

予算額1億2千6百万円で、地域内7路線の道路改良、舗装、歩道整備、設計を行うもの。

◇地域固有業務(継続)

地域の伝統文化にかかわるものや、支所で行う方が効果的な業務のことですが・・・
予算額2千6百万円余で9種の事業を予定。
(産業まつり補助、夏まつり補助、東京中之島会、代償水路負担金、敬老会、つくろう塾、中学生ヘルメット助成、コシヒカリ学校給食負担金、嘱託員手当)

◇十七年度予算について松井一男のコメント

- ・災害からの復旧復興と、合併効果の発揮の両方を狙った予算であること。
- ・災害復旧、住宅対策、被災者支援に総額5百63億円(シェア28%)、まさに復興重点予算。
- ・ふるさと創世基金40億円を合併特例債から積み立て、その運用益(年3千万円)を各地域に配分し、地域の連携強化、地域振興に役立てる。中之島地域の配分額は2百30万円。このお金をどう使うのか、生かすも殺すも地域の皆さん次第。
- ・地域固有業務は、中之島地域の独自性の保持や持続的活性化のために重要な事業。その割には、その業務の定義、運営細目、予算規模などについて、市民の目線に立った検討が十分か疑問。
- ・地域毎の住民サービスのレベルが不揃いで驚きました。例えば、各地域のまつりへの補助金の額、中学生の海外研修事業、各種団体への補助金、嘱託員への報酬額等々。地域固有の歴史や事情は理解するにしても、いずれかの時期には解決すべき問題だと考えます。

産業市民委員会での質疑応答

5月の臨時会において、私は産業市民委員会に所属しました。この委員会は、市民生活部、商工部、農林部、環境部、消防と大変に広い分野を所管するので大変なのですが、中之島地域に直結する部門でもあり、やりがいのある委員会だと喜んでいきます。



7月6日、7日開催の委員会での質問をし、市長や幹部から実のある回答を聞くことができました。

《避難準備情報の対応について》

松井一男 6月28日の豪雨により、中之島、三島で「避難準備情報」が初めて発令された。市民には多少の混乱や戸惑いがあったとも耳にするが、これら対応についての評価と反省を伺う。

市民生活部長

前日に記者発表したばかりで市民に周知する前に発令したことで、些かの混乱があったことは承知している。反面、早めに避難の準備ができたなど評価いただけたと思う。

松井一男

豪雨災害においては、特に適時・適切な情報伝達が肝要だと言われている。各地域の施設や体制が大きく異なっているが、どうしていくのか。

市民生活部長

ケーブルテレビ・FMながおかのエリア外対策に、先頃FMにいがたと災害時緊急放送の協定をした。今後、いろんなルートを積み上げて情報提供できるようにしていきたい。

《中之島流通団地の国道へのアクセスについて》

松井一男 先の日経新聞に原信物流センターが紹介されていた。県内各店への配送を全てここで賄えるのは、中之島流通団地の立地の良さが大きいとのこと。流通団地は今後の拡張計画もあり、長岡市の北部の発展の原動力として、企業立地推進、地域の雇用確保からも多に期待できる。しかし、隣接する国道8号へのアクセスで、三条方面(北側)に向かうには不便な現状を認識しているか?

工業振興課長

中之島流通団地から国道への乗り入れは、長岡向けにはその場所から可能だが、三条向けには刈谷田川と既存の住宅団地が近接しておりできない。そのため中之島市街地を通るしかなく、立地企業からも改善の要望があると聞いている。また、河川改修に関連して検討が進められていると伺っている。

松井一男

刈谷田川災害復旧工事によって、旧国道の今町大橋が架け替えとなり、その迂回路計画とも関連するため、地域にとつて大変重要な問題である。引き続き関係機関との対応を図るよう要望する。

《代償用水について》

松井一男

八丁沖の開拓に伴い、猿橋川の信濃川との合流点が三度にわたり下流に付け替えられたこと。上流部の排水促進のために、下流中之島地域の用水堰撤去が求められ、歴史的な経緯から代償水路が設けられ運用されてきた。昨今、用水の水質悪化、水量不足、一部施設の老朽化などの実務的な問題があるやに聞いている。市はどう認識しているのか?

農地整備課長

代償用水には様々な背景があることと、また上下流域で様々な考えがあることは承知している。新市として、安心・安全な農産物を生産するために、総合的な水対策としての検討課題と理解している。

松井一男

今まで異なる自治体間のことであり、政治的な決着を見ていた面もあるが、編入合併により用水者の権利が侵害されないか懸念する声もある。新市の農業政策の中で解決して行く考えはあるか?

農林部長

地域の農業用水をどのように安定して確保して行くか、検討していかねばならないと考えている。

松井一男

私はこの問題は上下流の住民の対立軸にしてはいけないと考えている。幸いに既得水利権の活用や土地改良事業の取り組みなど有利な条件もあるようだが、市長は新市のリーダーとしてこの問題にどう取り組む考えか?

森市長

歴史的な背景がある話と伺っている。過去の経緯を踏まえ今までの農業がきちんと継続できるようにするのが市の使命だ。正確に対応したい。

刈谷田川改修に伴う対応について

私は選挙戦でも訴えて来ましたが、7.13水害に伴い新潟県が行う刈谷田川改修について、町当局の住民への対応は余りに冷たいのではないかと、ぞんざいに過ぎるのではないかと考えて来ましたが、

当選後、4月27日に森市長と面談した際にも、「移転を余儀なくされる市民に大きな戸惑いと不安があり、基礎自治体はその力になっていないこと」を説明し対応を求めました。市長は早速大野復興監を派遣し、市民の生の声を聞き、対応を検討するよう指示されました。これらのこともあり、7月1日

災害復興対策特別委員会での質疑

7月1日の委員会で長岡市復興計画について審議があり、刈谷田川改修について質問しました

松井一男 商店の経営者が移転適地が見つからず難儀をしている。市として移転対象者に対して代替地あつせんを今からでもやる考えはないか？

大野復興監 状況は理解している。ワークシヨップを設けたり、新たに設置した対策室を活用して、市民の不安解消に努めたい。

松井一男 ショートカットに伴って今までの小路や裏通りが直接県道や測道に接することになり様々な都合が懸念される。市道の改良拡幅や交差点改良、バス停の設置、ゴミステーションなど市としての対応が必要になると思うが対応は如何に？



復興推進室次長 議員指摘の通りと考え、既に関係部署で検討を始めた。

議会のあれこれ その1 本会議と委員会

本会議は全議員が議場に出席し、市長や議員から提出された予算案や条例案について審議し、市議会の最終意思を決定する会議です。

いっぽう委員会は常任委員会と議会運営委員会、特別委員会の3つがあり、議員は必ず一つの常任委員会に所属します。常任委員会は市の事務を部門別に分け、条例や予算などの議案や請願・陳情などを専門的に審議します。長岡市では「総務」「文教福祉」「産業市民」「建設」の4常任委員会です。

議会のあれこれ その2 質問とは

質問は議員にとつての最大の武器ともいわれ、質問の形をとることで、市長や幹部に対して働きかけたり、反対意見、賛成意見を表明できます。

一般質問とは、本会議で行うもので、事前に内容を通告しておけば内容の制限無くでき、議員や会派の政策実現に資するものです。反面、十分な準備のない質問は答弁も通り一遍のものとなりがちであり、形だけの質問があることも事実です。

委員会質問とは、常任委員会、特別委員会で行うもので、一般質問と異なり事前の通告は不要で、形式も一問一答式です。挙手の順に委員長から指名を受け、自席で質問します。本会議と同様に質疑の内容は全て議事録で公開されます(特に長岡市議会は委員会議事録もインターネットで公開)から、十分な準備が必要なことは言うまでもありません。「知らないことは質問してはいけない」と言われるのは体験してみると全く同感です。



松井一男が一般質問をしなかったワケ

本会議における一般質問は、ある意味議員の晴れ舞台であり、任期中に何回の一般質問をしたかを議員の政治活動の実績とする考え方もあります。

今議会、議会事務局では7人の増員議員を加え、復興元年・合併元年の初定例議会ということで、多数の一般質問者を想定し、日程を一日増やしたとか。今議会に向けて私は、一般質問を念頭に準備を進めて来ましたが、その時点では準備が不足だったことと、前後の状況から見ても委員会質問で代替できると思え、あえて見送ることを決めました。支持者の皆様からはお叱りを受ける場面もありましたが、このような考えと事情を説明しご理解をいただいています。なお、9月定例議会ではきちんと練った一般質問をお見せすることができると思っております。

松井一男の市議会日記

議員は非常勤だとばかり考えていましたが、こと長岡市議会では当てはまらないようです。ほぼ毎日議会に登庁し、忙しく活動している私の日記を紹介します。



- 4月25日 市役所で当選証書を受領
- 27日 新議員説明会の後、森市長と面談
- 28日 会派入り決断。市民クラブ入会
- 30日 クラブ勉強会。臨時会の対応協議
- 5月6日 クラブ会議。先輩議員に質問
- 9日 選挙管理委員会に収支報告書提出
- 11日 中之島地区ゲートボール大会来賓
- 12日 信条小学校田植え激励
- 16日 市議会臨時会開会 18日まで
- 19日 新議員研修会 23日まで
- 22日 東京中之島会総会参加(東京)
- 26日 旧4町村災害現地視察
- 27日 長岡復興局災害復旧部打ち合わせ
- 29日 長岡消防団春季演習視察

- 30日 クラブ政務調査会 6月定例会の対応
- 6月2日 スポーツ議員連盟視察会(全市域)
- 3日 災害復興対策特別委員会 復興計画素案
- 4日 今町中之島大風合戦激励 6日まで
- 6日 山古志地域現地視察(徒歩2時間)
- 8日 下沼新田いきいきサロンで講話
- 10日 災害特別委員会現地視察(旧長岡市) 中之島地域委員会(途中から傍聴)
- 12日 中之島消防団訓練視察
- 13日 市民クラブ視察研修(雲仙普賢岳災害)
- 17日 克雪防災対策特別委員会
- 24日 信条地区防犯懇談会
- 28日 6月定例議会 召集日 7月15日まで
- 7月1日 避難準備情報発令、現地調査
- 3日 議会本会議 災害対策特別委員会
- 4日 信条地区大運動会参加
- 4日 農業委員告示日、当選者に挨拶廻り
- 4日 常任委員会 14日まで
- 16日 中之島復興の集い参加
- 19日 常任委員会現地視察会 22日まで
- 22日 市政報告会(並木集落センター)
- 23日 サンパルク夏まつり、虹の家夏まつり
- 24日 信条公民館夏まつり 各参加
- 24日 中通地区大運動会参加
- 25日 長岡復興局災害復旧部打ち合わせ
- 27日 長岡地域広域行政組合議会
- 8月1日 中之島地域委員会傍聴



【編集後記】

まだまだ暑い日が続きますが、どうぞご自愛下さい。

この便りをご覧になってのご意見・ご感想をぜひお寄せ願います。

松井一男事務所

〒954-0213 長岡市下沼新田甲124

電話 0256-97-1793 FAX 0256-98-4816

Eメール info@matsui47.com